

さぬま 砂沼広域公園



表紙写真提供：下妻市

下妻市のほぼ中央に位置する砂沼は、下流に広がる約1,980haの大規模農業地帯を潤す貴重な水源地として、また、都市の親水空間として、長年、周辺住民に親しまれてきました。

その昔、砂沼は一度、干拓されて新田になった過去があります。江戸時代中期、各地で新田開発施策が推進され、享保11年(1726)、砂沼は田んぼとして整備されました。

しかしその後、周辺地域が深刻な水不足に陥ってしまったことから、地域の農民は、水源としての砂沼の復活を強く望みました。そして、その願いが受け入れられ、干拓から約60年後の寛政3年(1791)、溜池として再び整備されることになりました。

現在の砂沼は、周囲約6km、面積約55ha、満水時の水深は約3mです。昭和25年に「茨城百景」、平成22年には農林水産省「ため池100選」に選定されました。

また、砂沼とその周辺は、「砂沼広域公園」として整備されています。沼の外周には約50種類、約1,300本の桜が植えられ、花見の名所となっているほか、平成29年(2017)には、南岸に下妻市観光交流センター「さん歩の駅サン・SUNさぬま」がオープンしました。

湖の中央には、全国でも珍しい全長395mのY字橋が架かっています。橋の交差点に立つと、360度のパノラマビューを楽しむことができるほか、水辺の向こうには、筑波山を望むことができます。

新型コロナウイルス感染症が終息した後、ご家族・ご友人とともに、四季折々の植物を愛でながら、公園内を散策してみたいでしょうか。



◆場所：茨城県下妻市長塚

◆アクセス：

【車】常磐自動車道「谷和原IC」より国道294号
経由で約40分

【電車】つくばエクスプレス「守谷駅」から関東鉄道
常総線に乗り換え、「下妻駅」で下車後、徒歩
で約10分